

### 3. 防災生活圈促進事業

道路等の延焼遮断帯に囲まれた概ね小中学校区程度の生活圏内において、震災時の市街地大火を防止するため、ハード・ソフトの両面から防災まちづくり(地区防災道路、防災広場、防災施設等の整備及び用地取得)を進め、震災時に「逃げないですむ」ブロック(防災生活圈)を形成していく事業です。

豊島区では平成7年度から平成16年度までの10カ年に渡り池袋本町地区において事業を実施し、平成10年度から南池袋地区でも事業を実施し平成19年度に終了しました。

#### (1) 南池袋地区【平成19年度終了】

##### ① 事業内容

東京都防災生活圈促進事業（都）  
 平成10年5月20日 事業地区指定承認  
 平成13年10月22日 事業推進計画承認  
 事業期間 平成10年度～平成19年度  
 事業地区 南池袋二丁目1～5番、36～46番、  
 49番、南池袋三丁目、雑司が谷三丁目（30.6ha）

##### ② 事業実績

図表 2-3-28 南池袋地区の事業実績

(平成20年3月31日現在)

年度	事業実績
平成10年度	事業地区現況調査実施
平成12年度	事業推進計画作成
平成13年度	事業推進計画承認
平成14年度	民間井戸改修(南池袋二丁目)
平成15年度	民間井戸改修(南池袋三丁目)
平成16年度	民間井戸改修(雑司が谷三丁目)
平成18年度	南池ふくろうひろば(547.69㎡)

図表 2-3-29 防災生活圈促進事業対象区域図（南池袋地区）



(2) 池袋本町地区【平成16年度終了】

① 事業内容

東京都防災生活圈促進事業（都）  
 平成7年5月30日 事業地区指定承認  
 平成9年5月6日 事業推進計画承認  
 事業期間 平成7年度～平成16年度  
 事業地区 池袋本町一～四丁目

② 事業実績

図表 2-3-30 池袋本町地区の事業実績

年度	事業実績
平成6年度	事業地区現況調査実施
平成7年度	事業推進計画作成
平成9年度	池袋第二小防災井戸広場整備(87.9㎡) 5t貯水槽設置(池袋本町公園)
平成10年度	池袋中防災井戸広場整備(85.9㎡) 民間井戸改修(池袋本町三丁目)
平成11年度	5t貯水槽設置(池袋中学校裏) 民間井戸改修(池袋本町一丁目) 防災公園用地取得(4,070.50㎡) 地区防災センター用地取得(1,915.41㎡)
平成12年度	文成小防災井戸広場整備(26.0㎡)

図表 2-3-31 防災生活圈促進事業対象区域図(池袋本町地区)





## 4. 都市防災不燃化促進事業

この事業は、防災上重要な避難地、避難路の周辺を「不燃化促進区域」に指定し、この区域内で耐火建築物を建築する者に対して建築費等の一部を助成することにより不燃化を促進し、大地震に伴い発生する火災から、区民の生命、身体の安全を確保することを目的としています。

豊島区では、昭和59年度から平成15年度までの20カ年に渡り「雑司が谷墓地周辺地区」で、昭和62年度から平成8年度までの10カ年に渡り「立教大学周辺地区」で事業を実施しました。

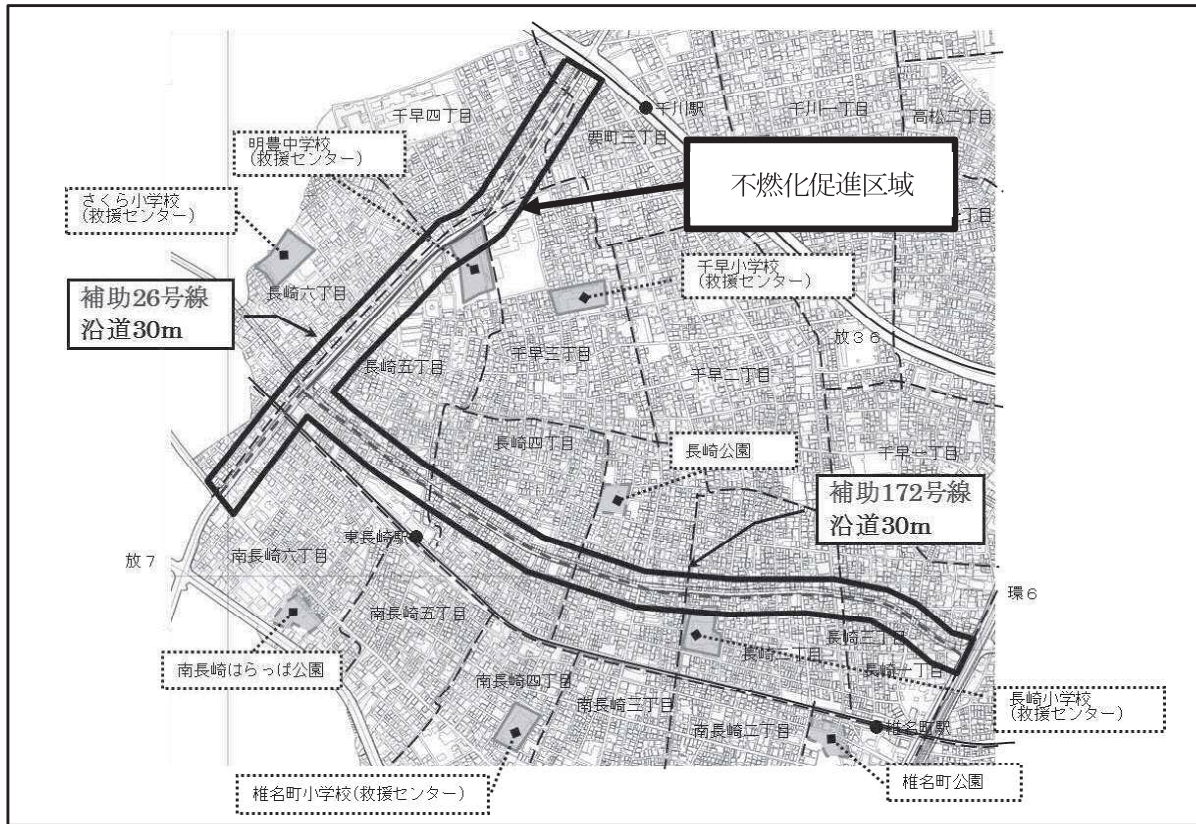
雑司が谷墓地周辺地区は、当該事業期間中に耐火率は35.8%（不燃領域率46.76%）まで高まり、事業開始時の耐火率11.1%（不燃領域率19.0%）から見ると、一定の成果をあげたと考えられます。また、立教大学周辺地区は、耐火率60.1%（不燃領域率68.27%）と、ほぼ計画目標値を達成しました。

また、東京都が策定した「防災都市づくり推進計画」に基づく特定整備路線補助26・172・73・82・81号線の沿道30mの区域において都市防災不燃化促進助成事業を実施中です。

### (1) 補助26・172号線沿道地区

- ◆ 不燃化促進区域面積：22.1ha（補助26号線沿道：10.4ha、補助172号線沿道：11.7ha）

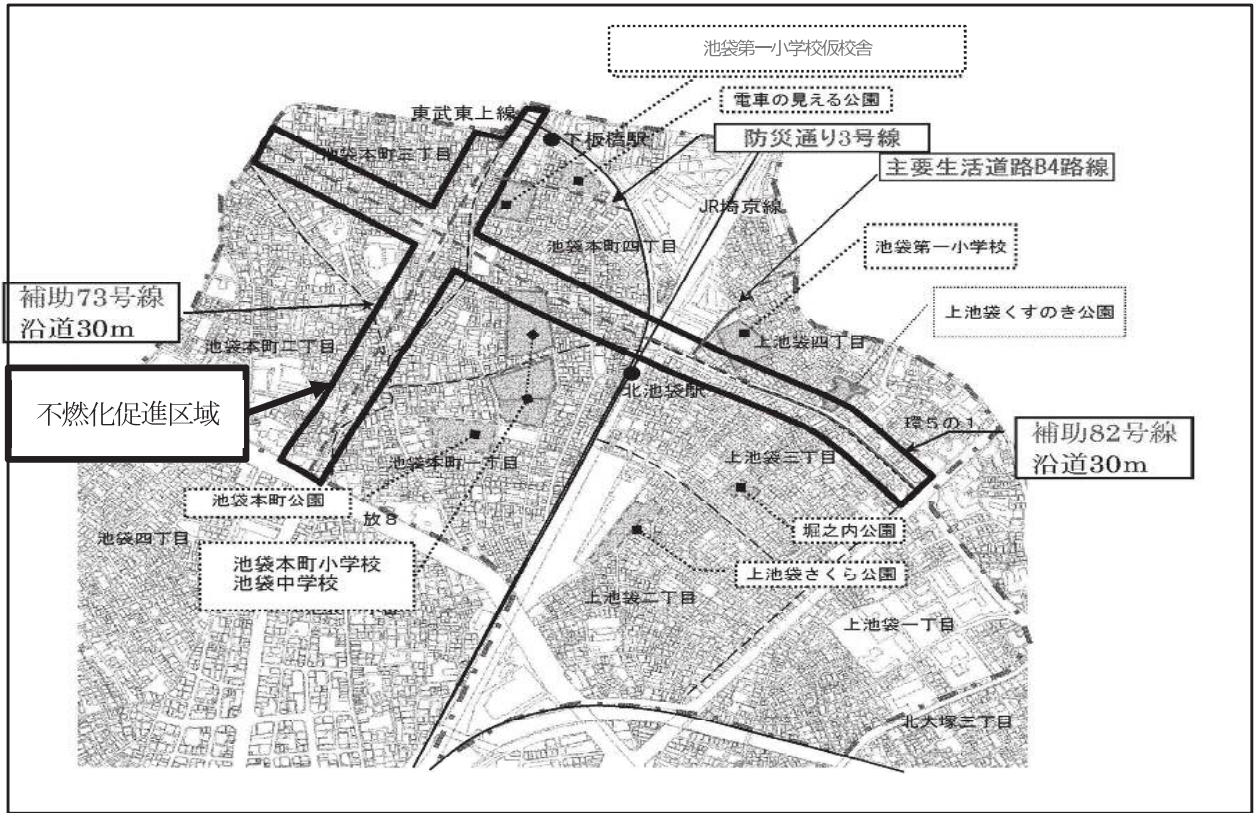
図表 2-3-32 事業計画概略図



(2) 補助73・82号線沿道地区

◆ 不燃化促進区域面積：16.6ha

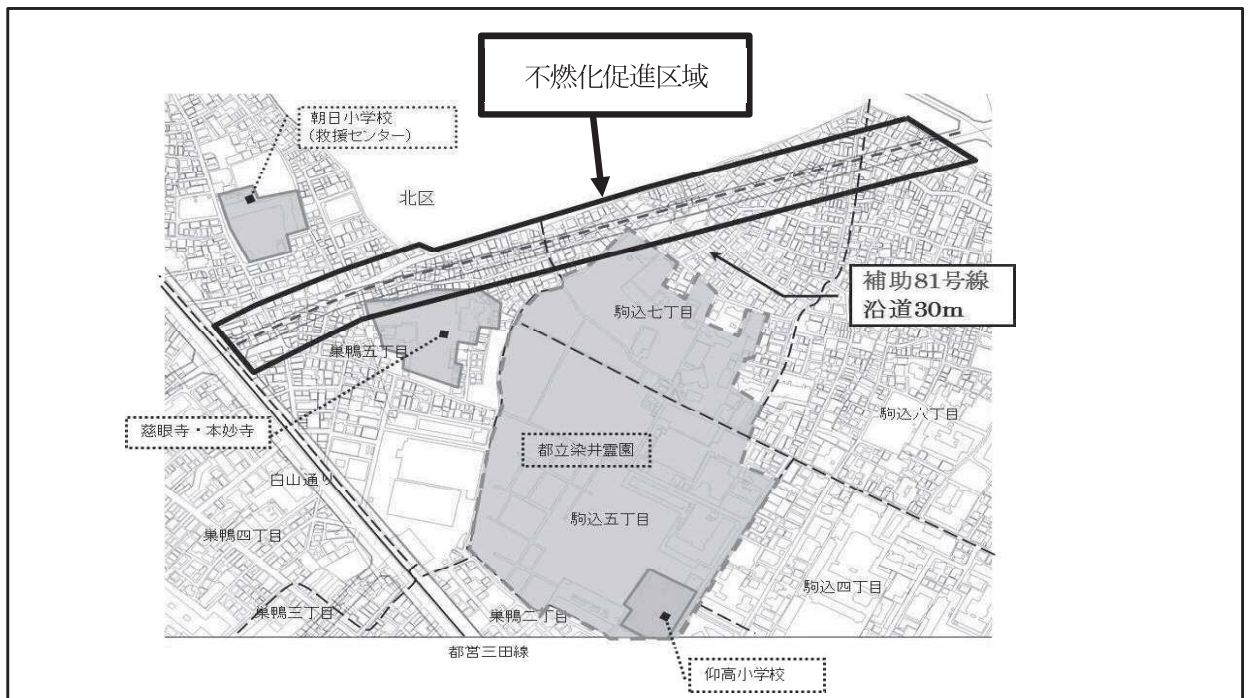
図表 2-3-33 事業計画概略図



(3) 補助81号線沿道地区

◆ 不燃化促進区域面積：6.7ha

図表 2-3-34 事業計画概略図





(4) 雑司が谷墓地周辺地区【平成15年度終了】

- ① 事業計画目標
  - ア. 不燃化促進区域面積：21.3ha
  - イ. 計画耐火率：70.0%
  - ウ. 有効面積：8.80ha
  - エ. 避難人口：88,000人
- ② 助成事業実績 計 171 棟
- ③ 地区の現況（平成16年3月終了時）

図表 2-3-35 事業対象区域図(雑司が谷墓地周辺地区)



図表 2-3-36 雑司が谷墓地周辺地区の現況

		棟数	建築面積	耐火率
建築敷地	耐火建築物	267 棟	27,329 m <sup>2</sup>	35.8%
	非耐火建築物	922 棟	48,940 m <sup>2</sup>	
合計		1,189 棟	76,269 m <sup>2</sup>	

(5) 立教大学周辺地区【平成8年度終了】

- ① 事業計画目標
  - ア. 不燃化促進区域面積：28.26ha
  - イ. 計画耐火率：70.0%
  - ウ. 有効面積：6.60ha
  - エ. 避難人口：64,000人
- ② 助成事業実績 計 120 棟
- ③ 地区の現況（平成9年3月終了時）

図表 2-3-37 立教大学周辺地区の現況

		棟数	建築面積	耐火率
建築敷地	耐火建築物	449 棟	65,114 m <sup>2</sup>	60.1%
	非耐火建築物	770 棟	43,240 m <sup>2</sup>	
合計		1,219 棟	108,354 m <sup>2</sup>	

図表 2-3-38 事業対象区域図(立教大学周辺地区)

